

野鳥観察会 大谷北池～築水池～宮滝大池 2026年1月24日

大谷北池



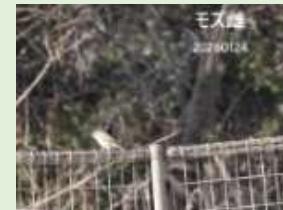
築水池南岸



マガモ夫婦



多目的広場



アサギマダラの幼虫
キジョランの葉に
2～3歳が10頭ほど
いました



右側のシデコブシは25年前にYさんが植えた木です。一旦、草刈り機で切られたものが立派に育ちました。

雑学編



夏にコナラやサクラなどの枝に作られる黄緑色の美しい繭です。幼虫が夏に作り、秋に成虫が羽化して卵で越冬します。冬に見つかるのは羽化後の抜け殻です。構造は、上部に羽化用の隙間、下部に雨水排出用の小さな穴があります。これは梅雨の時期に作られるため、水が入るのを防ぐための精巧な仕組みです。



アサギマダラの成虫

秋に常緑性であるキジョランに産卵し、2~3齢程度の幼虫で越冬します。成虫が見られるのは5月から10月くらいまで、秋に日本本土から南西諸島・台湾へ渡るようになります。



カワセミの巣穴は、川岸や土手の垂直な土の崖に、嘴（くちばし）を使って自ら掘るトンネル状の巣穴です。深さは1m近くにもなり、奥に産卵・育雛用の部屋（産室）があります。3月~6月頃に産卵し、約20日間の抱卵を経て、3~4週間でヒナが巣立ちます。



モズは捕えた獲物をその場で食べないで、木の棘や有棘鉄線に突きさしておく習性があります。